

区分・種別	県指定史跡		
名称	かわだゆうきんいっかのほか 川田雄琴一家の墓		
所在地	大洲市柚木		
所有者	興禅寺	管理団体	
指定年月日	昭和34年3月31日		
解説	<p>川田雄琴一家の墓は興禅寺の境内裏、山の中腹にあり、墓域は東西3m・南北8mの広さである。雄琴の墓碑は南側にあつて北面し、花崗岩製で「雄琴川田先生墓」の刻銘がある。墓地の西側には、雄琴夫人の「慧球孺人墓」、「為谿川田先生墓」、「川田為谿翁室岡氏墓」および「紫淵川田先生墓」の4基が並んでいる。</p> <p>川田氏は、雄琴、嫡子資哲（為谿）、嫡孫資始と資敬（紫淵）の3代にわたる江戸時代の陽明学者で、3代60年あまりにわたつて大洲藩校止善書院明倫堂の教授を継承し、同藩の教学の振興に多大の功績をあげた。</p> <p>雄琴（1684～1760）は、朱子学を梁田蛻巖に、のち陽明学を三輪執斎に学んだ。大洲藩主泰温に仕え、藩学止善書院明倫堂の創設に尽力してその教授となった。資哲、その長子資始、次子資敬いずれも明倫堂教授として寛政異学の禁により家業が免ぜられるまで、藩教学の興隆にあつた。</p>		

